

2019年度人間系科研費データベース

2019/11/1 現在

氏名		研究課題名	キーワード	採択 年度	終了 年度	研究種目	学域
松田	壮一郎	計算論的行動計測技術に基づく顔と身体表現における物理的対面の機能とその障害の解明	物理的対面、二者同時計測、ウェアラブルデバイス、視線推定	30	元	新学術領域研究 (研究領域提案型)	心理
小澤	貴明	粘り強さを制御する神経メカニズムの解明	ドーパミン、粘り強さ、光遺伝学	元	2	新学術領域研究 (研究領域提案型)	心理
高橋	阿貴	過剰な攻撃性にかかわる神経回路の構成的理解	過剰な攻撃行動、外側手綱核、背側縫線核、グルタミン酸、社会的ストレス	元	2	新学術領域研究 (研究領域提案型)	心理
小川	園子	社会性の形成・維持を司る神経内分泌機構の解明	エストロゲン受容体、社会行動神経回路、ステロイドホルモン、思春期、性特異的行動	27	元	基盤研究(S)	心理
原田	悦子	高齢者の学習：認知的制御、感情、動機づけを考慮した学習機制の解明と支援の検討	認知的制御、認知的加齢、動機づけ、感情、学習・学習支援	28	元	基盤研究(A)	心理
竹田	一則	大学における合理的配慮と支援モデルの最適化に基づくニューロダイバーシティの実現	ニューロダイバーシティ、発達障害、高等教育、合意的配慮、アセスメント	30	3	基盤研究(A)	障害
濱田	博文	校長のリーダーシップ発揮を促進する制度的・組織的条件の解明と日本の改革デザイン	校長のリーダーシップ、システムアプローチ	30	4	基盤研究(A)	教育
LAMICHHANE	KAMAL	ネパール大地震の社会的インパクトとレジリエンス強化のための革新的支援法	災害、レジリエンス、ネパール	28	元	基盤研究(B)	障害
大塚	泰正	セクシュアル・マイノリティへの適切な対応を促進する産業保健スタッフ向け研修の開発	心理学的介入、セクシャル・マイノリティ	29	元	基盤研究(B)	心理
井田	仁康	「持続可能な社会」に向けての社会科・理科のグローバルな融合カリキュラムの開発	持続可能な社会、社会科・理科、地理・歴史・公民、カリキュラム開発、ネットワーク	29	2	基盤研究(B)	教育
米田	宏樹	「知的障害教育教科」によるインクルーシブ教育カリキュラム開発日本モデルの探究	知的障害教育カリキュラム、インクルージョン	30	3	基盤研究(B)	障害

山田	一夫	ギャンブル・薬物依存への脆弱性とストレスレジリエンス：動物モデルを用いた検討	ラット、ギャンブル嗜好性、個体差、オプトジェネティックス、背外側被蓋野	30	2	基盤研究(B)	心理
礪田	正美	教科教育ターミノロジー世界標準化への国際協働研究：日本の算数教育用語の広域展開	算数教育、用語、国際比較、日本型教育、APEC	元	3	基盤研究(B)	教育
佐島	毅	視覚障害児の包括的アセスメントの開発と発達段階に応じたカリキュラムモデルの構築	視覚障害児、包括的アセスメント、カリキュラムモデル	元	4	基盤研究(B)	障害
鄭	仁豪	聴覚障害者の視覚的非言語性認知課題の処理方略一言語モードと言語力に基づく検討ー	認知処理方略、聴覚障害者、非言語性課題、視覚的課題、眼球運動	元	5	基盤研究(B)	障害
小澤	貴明	柔軟な行動の予測と制御ー行動神経科学によるアプローチー	予測、行動の柔軟性、神経	元	3	基盤研究(B)	心理
高橋	阿貴	過剰な攻撃行動と免疫系をつなぐ神経メカニズムの解析	過剰な攻撃行動、免疫系、背側縫線核、インターロイキン1 β 、個体差	29	2	若手研究 (A)	心理
川口	純	障害児の社会経済特性と教育のインクルージョンに関する国際比較研究	教育のインクルージョン、社会経済特性、途上国の特別支援教育、教育の公平性、障害の種別と程度	29	2	若手研究 (A)	教育
杉江	征	高齢者の不眠に対する自律訓練法の有効性とメタ認知的気づきの検討	自律訓練法、認知傾向、不眠	28	30 元	基盤研究(C)	心理
藤生	英行	日本に適合したカウンセリング訓練ツールの開発に関する基礎研究	老化、リハビリテーション、サルコペニア、骨格筋、運動処方	28	2	基盤研究(C)	心理
綾部	早穂	嗅覚における注意の機能に関する心理学的研究	嗅覚の注意、呼吸反応	28	30 元	基盤研究(C)	心理
吉田	武男	ベルリンの就学前施設における道德教育改革の今日的動向に関する総合的研究	道德教育、ベルリン、就学前、幼児教育施設、幼児全日施設	28	30 元	基盤研究(C)	教育
片平	克弘	子供の科学概念の長期的な変容・発展を促進するLPs活用型教授サイクルの実践と確立	理科教育、LP s、カリキュラム開発、科学概念、科学的認識	29	2	基盤研究(C)	教育
相川	充	感謝スキルが対人関係と自己認知に及ぼす形成・拡張効果の介入的実証研究	感謝感情、感謝表出スキル、儀礼的感謝行動、ソーシャルスキル、学校適応感、心理的負債	29	元	基盤研究(C)	心理

飯田	順子	教員のいじめ対応効力感を高めるための支援プログラムの開発及び効果検証	いじめ予防、教員支援、効力感、学校心理学	29	元	基盤研究(C)	心理
田附	あえか	児童養護施設における心理職による家族支援のための教育研修プログラムの構築と試行	児童養護施設、家族支援、児童虐待、家族療法	29	2	基盤研究(C)	心理
岩藤	裕美	引きこもり者への臨床心理学的アウトリーチ支援モデルの構築	ひきこもりの回復過程、アウトリーチ支援、支援効果の促進要因	29	元	基盤研究(C)	心理
原田	隆之	性的アディクションに対するリスクアセスメント・ツールおよび治療プログラムの開発	性的アディクション、認知行動療法、リラプス・プリベンション、リスクアセスメント、エビデンス	29	元	基盤研究(C)	心理
根津	朋実	教員は評価アイデンティティをどう形成するのか	teache as researcher Stenhouse, L.	29	元	基盤研究(C)	教育
藤井	穂高	フランス及びスイスにおける幼小接続制度の論理と課題に関する研究	フランス、スイス、幼小接続、幼児教育の義務化	29	元	基盤研究(C)	教育
唐木	清志	高等学校公民科へのサービス・ラーニングの導入に関する理論的・実践的研究	サービス・ラーニング、高等教育、公民科、公共	29	元	基盤研究(C)	教育
蒔苗	直道	戦中・戦後の数学教育における進歩主義と本質主義の対立と共存に関する研究	各教科の教育、算数、数学、数学教育再構成運動	29	2	基盤研究(C)	教育
田中	マリア	スイスPERにおける価値教育に関する研究-倫理・宗教文化・市民性への教育を中心に	ヴォー州、ヴァレー州、フリブール州、倫理、宗教文化、市民性の育成	29	元	基盤研究(C)	教育
裴	虹	日本に在住する中国人障害幼児児童の支援方法に関する調査研究と事例研究	日本に在住する中国人、障害のある幼児児童、支援方法	29	元	基盤研究(C)	障害
熊谷	恵子	算数困難のある生徒のためのICT活用授業に関する研究	算数障害、ICT活用授業、算数困難、計算時間測定	29	元	基盤研究(C)	障害
名川	勝	オーストラリアにおける支援付き意思決定の制度展開と支援モデル開発に関する基礎研究	障害、意思決定、成年後見、オーストラリア、NDIS法	30	2	基盤研究(C)	障害
菊地	かおり	国際化・グローバル化に対応した後期中等教育政策の論理と展開	国際化、グローバル化、後期中等教育、国際学校、臨時教育審議会、教育政策	30	2	基盤研究(C)	教育

宇野	彰	肢体不自由特別支援学校の教職員や保護者等における腰部の負担軽減に関する研究	肢体不自由、介助量負担の軽減、ロボットスーツ	30	2	基盤研究(C)	障害
茂呂	雄二	貧困の子どもの支援を目指した公私空間を橋渡しする第3空間の探索的開発	貧困の子ども、第三空間、社会物質的アレンジメント、発達、学習	30	2	基盤研究(C)	心理
大川	一郎	高校におけるグローバル教育の効果検証—プログラム間の比較と中長期的効果の検討	グローバル教育、高校生、グローバル・オリエンテーション尺度、効果検証、スーパーグローバルハイスクール	30	2	基盤研究(C)	心理
濱口	佳和	親の能動的・反応的攻撃性が虐待的養育と子どもの心理社会的不適応に及ぼす影響	養育行動、父母、小学生、尺度構成、身体的攻撃、関係性攻撃、抑うつ・不安、向社会的行動	30	4	基盤研究(C)	心理
沢宮	容子	対人的楽観性に焦点を当てたメンタルヘルス改善のための統合的アプローチ法	統合的アプローチ、楽観性	30	3	基盤研究(C)	心理
岡田	昌毅	キャリア支援者の指導者養成プログラムの開発と効果の検討	キャリア教育、指導者養成、教育プログラム開発	30	2	基盤研究(C)	心理
P a v l i d e s	C	Hippocampal Organization of Spatial Map	Hippocampus, fear memory, spatial memory, immedate early genes, Zif268, functional organization	30	2	基盤研究(C)	心理
森地	徹	当事者参加型調査による親亡き後の支援の検討に関する研究	親亡き後、支援 参加型調査	元	3	基盤研究(C)	障害
岡	典子	現代政治教育とナチス期無名市民のマイノリティ救援—包摂・協働・自律—	政治教育、マイノリティ救済、ナチス期抵抗市民、自律的思考、社会包摂	元	3	基盤研究(C)	障害
大谷	奨	戦後日本における県立大学の国立移管に関する研究—設置者変更の「意味」をめぐって	学校設置者、国立大学、公立大学、移管	元	3	基盤研究(C)	教育
上田	孝典	中国の小中学校における学校と地域の連携・協働に関する研究	学校と地域の連携、中国、校外教育、校本課程	元	4	基盤研究(C)	教育
佐藤	博志	グローバル化された学校のマネジメントに関する日豪比較研究—IB認定校に着目して—	学校マネジメント、校長、国際バカロレア、日本、オーストラリア	元	3	基盤研究(C)	教育
長田	友紀	グローバル社会・多言語多文化社会に対応する日本の国語教育の再構築の基礎的研究	国語教育、国語科教育、海外展開、日本語教育、ミャンマー	元	4	基盤研究(C)	教育

廣田	栄子	軽中等度難聴児の学童期課題の発生の機序と言語発達支援要件の検討に関する研究	軽中等度難聴児、新生児聴覚スクリーニング検査、学校生活適応、言語発達遅延、家族支援	元	3	基盤研究(C)	障害
和田	恒彦	特別支援学校理療科における神経近傍鍼通電技術向上を目的とした教育プログラムの開発	特別支援学校理療科、教育プログラム、臨床能力、低周波鍼通電、神経近傍鍼通電	元	3	基盤研究(C)	障害
外山	美樹	制御焦点とパフォーマンスの関連―他者の影響に焦点を当てて―	制御焦点、促進焦点、防止焦点、パフォーマンス	元	3	基盤研究(C)	心理
庄司	一子	生徒のつながりと安心感を育む学校予防教育と持続的ケアシステムの構築	学校予防教育、持続的ケアシステム、つながり、安心感、生徒	元	3	基盤研究(C)	教育
安藤	智子	両親の抑うつおよび養育行動と10歳児の行動特徴との関係	抑うつ、父親、母親、児童期、行動特徴	元	4	基盤研究(C)	心理
一谷	幸男	新生仔期グルタミン酸受容体遮断による統合失調症モデル動物の認知機能障害とその改善	グルタミン酸受容体、統合失調症、認知機能障害、抗精神病薬、ラット	元	3	基盤研究(C)	心理
佐野	一広	性ステロイドホルモンによる社会行動神経回路の機能的性差形成メカニズムの解明	社会行動、思春期、性ステロイドホルモン、エストロゲン受容体アルファ、内側偏桃体	元	3	基盤研究(C)	心理
佐藤	博志	「成功した校長」の国際比較研究―オーストラリア・ニュージーランド・日本を対象に―	校長、リーダーシップ、学校	28	30 元	挑戦的萌芽研究	教育
末富	真弓	自己理解促進ツールによる発達障害学生に対するシームレスな支援に関する研究	医療・福祉、社会福祉関係、臨床、社会系心理学	29	元	挑戦的研究（萌芽）	障害
小川	園子	加齢に伴う社会的関わりの変容がこころの健康に及ぼす影響についての萌芽研究	社会的探索行動、個体識別、社会的認知、不安・抑うつ傾向、社会的環境条件	29	30 元	挑戦的研究（萌芽）	心理
河野	禎之	セクシュアル・マイノリティにおける高齢期の施設ケア及び老後の不安に関する調査研究	LGBT、セクシュアル・マイノリティ、セクシュアリティ、イメージ	30	2	挑戦的研究（萌芽）	障害
川口	純	アジア・アフリカにおける教員政策の国際比較研究	学び続ける教員、教員スタンダード、自省する専門家	30	2	挑戦的研究（萌芽）	教育
原田	悦子	対話の加齢変化分析と高齢者支援システム開発による構成的会話研究	認知的加齢、対話支援、会話の構造	30	元	挑戦的研究（萌芽）	心理

山田	実	骨格筋内脂肪に着目したサルコペニア肥満の新たな定義の提案	サルコペニア、骨格筋内脂肪、超音波	元	3	挑戦的研究（萌芽）	障害
平	明子	国際バカロレアの教育効果に関する実証的研究—IBコンピテンシーの確立に向けて—	国際バカロレア、教育効果、コンピテンシー、混合研究法	元	3	挑戦的研究（萌芽）	教育
礒田	正美	AI社会におけるコンピューショナルシンキング育成教育課程基準策定国際共同研究	アルゴリズム的思考、プログラミング的思考、データサイエンティスト的思考、統計的思考、情報教育	元	2	挑戦的研究（萌芽）	教育
山田	一夫	社会的エンリッチメント環境が社会的・非社会的記憶能力に及ぼす影響	社会的エンリッチメント、社会的再認記憶、物体再認記憶、ラット	元	3	挑戦的研究（萌芽）	心理
Zhang	Qi	The roles of basolateral amygdala in regulation of optimism and pessimism	optimism、pessimism、amygdala、circuit、cognitive bias	元	2	挑戦的研究（萌芽）	心理
小澤	貴明	安心感を制御する神経メカニズムの解明	ドーパミン、光遺伝子、安心感	元	2	挑戦的研究（萌芽）	心理
名畑目	真吾	英文理解における概念間の意味的関連度の影響：テキスト単位と発達段階による比較	英語教育、リーディング、文章理解、記憶、心理言語学、潜在意味解析、コーパス、自然言語処理	29	2	若手研究(B)	教育
梶田	麻菜美	ラットの時間的順序記憶における海馬 - 内側前頭前野グルタミン酸受容体の役割	時間的順序記憶、海馬、内側前頭前野、グルタミン酸受容体、ラット	29	30 元	若手研究(B)	心理
京免	徹雄	フランスにおけるキャリア教育を通した市民性育成の理論と実践に関する比較研究	キャリア教育、市民性教育、比較教育学、フランス、特別活動	29	元	若手研究(B)	教育
Zhang	Qi	The roles of PIGA in epileptic encephalopathy and mental retardation	PIGA, GPI, epilepsy, dementia, ataxia, seizure, excitatory, neuron, inhibitory, neuron	29	30 元	若手研究(B)	心理
大村	美保	障害及び高齢の施策システムを横断する支援ニーズへの対応の総合化に関する研究	障害者、健康、横断的、支援ニーズ、統合化、高齢障害者	30	2	若手研究	障害
星野	真澄	アメリカ初等中等教育の接続に関する制度研究 —教育環境整備に焦点をあてて—	教育財政、教育行政、教育環境整備、アメリカ、教職員定数・教職員配置、初等中等教育の接続、学校段階区分、小中一貫	30	3	若手研究	教育
Tastanbekova	Kuanysh	多言語教育政策の意義と限界—中央アジア諸国のグローバル化対応にみる葛藤	言語教育、少数民族語、母語教育、ウズベキスタン、カザフスタン	30	3	若手研究	教育

徳永	智子	移民の若者のエンパワメントと居場所づくりに関する地域参加型研究（CBPR）	居場所、教育支援、移民、CBPR、日米比較	30	2	若手研究	教育
猪俣	朋恵	発達性ディスレクシア児の読み能力、語彙力と読書活動との関連に関する研究	発達性ディスレクシア、読書週間、読み、語彙、小学生	30	2	若手研究	障害
朝岡	寛史	自発的な空間的視点取得に着眼したASD児の模倣の特性解明と指導法開発	自閉スペクトラム症、空間的視点取得、模倣	30	2	若手研究	障害
宮内	久絵	小・中学校の自律的改革のための形成的評価指標の開発とその実用化に関する研究	インクルーシブ教育、低発生頻度障害、評価指標	30	3	若手研究	障害
平井	悠介	熟議民主主義の実質化に向けたシティズンシップ教育と家庭教育の連携に関する基盤研究	熟議民主主義、シティズンシップ教育、公/私二元論の克服	元	3	若手研究	教育
田中	怜	社会の複雑性を演出する「多視点的授業」の原理と方法	多視点的授業、ドイツ教授学、コンピテンシー	元	3	若手研究	教育
遠藤	優介	コンピテンシー指向の理科授業デザインに関する理論的・実践的研究	コンピテンシー、理科授業	元	3	若手研究	教育
花園	隼人	数学の文化的な美の感得を促進する教授方法に関する研究	数学教育学、数学の美、教授方法	元	2	若手研究	教育
石塚	祐香	自閉スペクトラム症児へのICTを活用した家庭密着型の包括的言語発達支援と評価	自閉スペクトラム症、ICT、言語発達支援、保護者支援	元	3	若手研究	障害
堀口	康太	再雇用高齢労働者の自律的就労働機づけの維持・向上要因に関する縦断的研究	再雇用労働者、動機づけ、縦断研究	元	2	若手研究	心理
慶野	遥香	心理援助職の倫理的困難の実態及び倫理的意思決定能力の発達の変化に関する研究	（交付申請留保）	元	3	若手研究	心理
梶田	麻菜美	げっ歯類を用いた時間的順序記憶の神経メカニズムの解明	時間的順序記憶、海馬、内側前頭前野、グルタミン酸受容体	元	3	若手研究	心理
佐々木	銀河	児童福祉施設等における行動評価支援ツールによる支援PDCAサイクルの確立	児童福祉施設、PDCAサイクル、行動評価	30	元	若手研究	障害

三益	亜美	コンピュータモデリングによる仮名の読み障害メカニズム 解明から読み指導法の効果予測	コンピュータモデリング、発達性ディスレクシア、失読、障害メカニズム、読み指導効果	元	4	若手研究	障害
田中	笑子	青年期に及ぶ地域コホートデータを活用した学校不適応への 早期支援プログラムの開発	コホート研究、コミュニティ・エンパワメント、ウェルビーイング、障害発達、次世代育成	30	2	若手研究	心理
菅原	大地	慈しみに焦点を当てたWebベースの認知行動療法の開発	慈愛瞑想、web仲介、うつ病、ポジティブ感情、セルフコンパッション	30	元	研究活動スタート支援	心理
清水	美憲	数学授業のレキシコンの構成とその比較文化的検証に関する 国際共同研究	レキシコン、授業、算数・数学、授業研究、比較文化研究	元	4	国際共同研究強化（B）	教育
濱田	博文	学校ガバナンス改革と危機に立つ「教職の専門性」		元	元	研究成果公開促進費 （学術図書）	教育
遠藤	優介	ドイツ科学教育改革とコンピテンシー		元	元	研究成果公開促進費 （学術図書）	教育